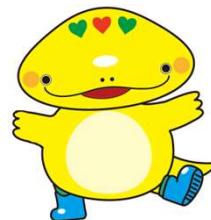




ともにんのお悩み相談コーナー



今回のお悩み

「自分は元気だから、手助けはいりません！」という方や、寂しさや不安から職員に対してきつく当たってくる方にはどう対応したらいいでしょうか。



手伝わせもらえませんか？や何かありましたか？気分転換にお散歩どうですか？とお声掛けするのはいかがでしょうか。

まず支援者は聞き手にまわり、その利用者様の話を傾聴することが大切だと思います。



その方の程度によるが、基本的には向こうから「助けて」というようなアクションがない限りアプローチしない。あるいは、全員に話をする機会を設けて、そのようなりアクションをする原因を追究することを試みる。

利用者さんの気持ちを考え優しく寄り添ってお話を聞くなど安心していただく。



本人様に寄り添う。聞いてあげる事が大切だと思います。



何か困ったことがあったらいつでも言って下さいね、とこまめに声かけしたり、よく観察をして時々にあった対応や声かけをする。

職員に対してきつく当たってくる利用者様は、淋しさの裏返しの場合や新入り職員に対してお試し行動の場合が多く、一旦、間をおいて優しく丁寧に低いトーンで語りかけると人間関係の構築が出来る場合が多い。知的障がい者の方であっても、細胞レベルで優しく務めるようにして、アイコンタクトを取るようにすると上手くいく。高齢の方は下の名前を呼ぶようにして傾聴時間を長く取る。





しっかりと話をしてみても情報を引き出す。「手助けはいらない」と思っているかもしれない。寂しさや不安から～ということが分かっているのであれば尚更、その不安や寂しさがどこから何からくるのか、どうすれば解消できるかもしれないかを知る必要があると思います。堅い言い方すれば1にも2にもアセスメント、柔らかく言えば寄り添いが大事なのではないのでしょうか。

むりに話しかけずそっと見守る



しつこく対応しない。一定の距離を持って対応する。離れた所から見守りしつつ、何かあったらすぐに駆け付けれる対策を取っておく。（一人ではないよのメッセージを発信する）



まずは相手の気持ちや考えを聞き出し、相手の心情に共感するようにする。支援を提供することが最善の方法である事を丁寧に説明し、その人が自身で手助けが必要であると認識できるようにすることが大切だろう。

まずはなんでもない世間話からはじめて、関係づくりから始めるのはいかがでしょうか。



温かく見守る



黙って見守り、出来なかった時そっと近くに寄り支援する

じっくり話を聞かせて頂く。日にちがが掛かるとは思いますが、話を聞いてくれる人が居るということは、その方にとってうれしいこと。きつく当たられても粘り強く関わっていくと何か変化があるかもです。他の職員も一緒に施設全体としてチームで取り組んでいけば、頑張れるかも。ご自身のストレス解消も忘れずに。



無理に聞き出そうとすればする程、関係は改善しないと思うので様子を見る。心は常に寄り添う。

危なげなかったら見守ることにして、危なかったらできないということにお手伝いさせてくださいと話しかけてみる。



分かりました。困った事があればいつでもたよってくださいね。絶対無理はしないでください。



手助けはいらないという人には、直接手を出して助けるのではなく、見守ることも大切だと思うので、私はそのようにします。きつく当たってくる方には、なかなか難しいことだけれど、それもその人の特徴なんだと理解できるようになったらいいなと思いました。

見守ること。利用者様に不適切なことがないかぎりは見守ることが重要だと思う。



私もそういう方に対しての関わりの仕方が難しく分かりません。でも今後、いろいろな方と関わり、上司の方々の背を見ながら学んでいき、そういう対応をとられる方にやさしく関われる人になります。

本人が喜ぶ声かけをして、やってほしい方に少しもっていく。



手助けがいりません、という方には全てさりげなくフォローする感じで接します。〇〇ができない、と思われたくない、そう思いたくないという気持ちが利用者様にあるので。相手のお話を少しだけゆっくり聞いてみるだけでもどう接して欲しいのかヒントになると思います。

アドバイスコメント、参考になったかな？ 次回のお悩み相談コーナーにもご協力をお願いします

